

平成 26 年 3 月 19 日



各 位

会 社 名 株式会社 宮 崎 銀 行
代 表 者 名 取締役頭取 小 池 光 一
(コード番号 : 8 3 9 3 東証第一部、福証)
問 合 せ 先 取締役経営企画部長 杉 田 浩 二
(TEL 0 9 8 5 - 3 2 - 8 2 1 3)

新中期経営計画の策定について

株式会社 宮崎銀行(頭取 小池 光一)は、今後 3 年間 (平成 26 年 4 月～平成 29 年 3 月) を計画期間とする中期経営計画を策定しましたので、その概要につきまして別紙の通り、お知らせいたします。

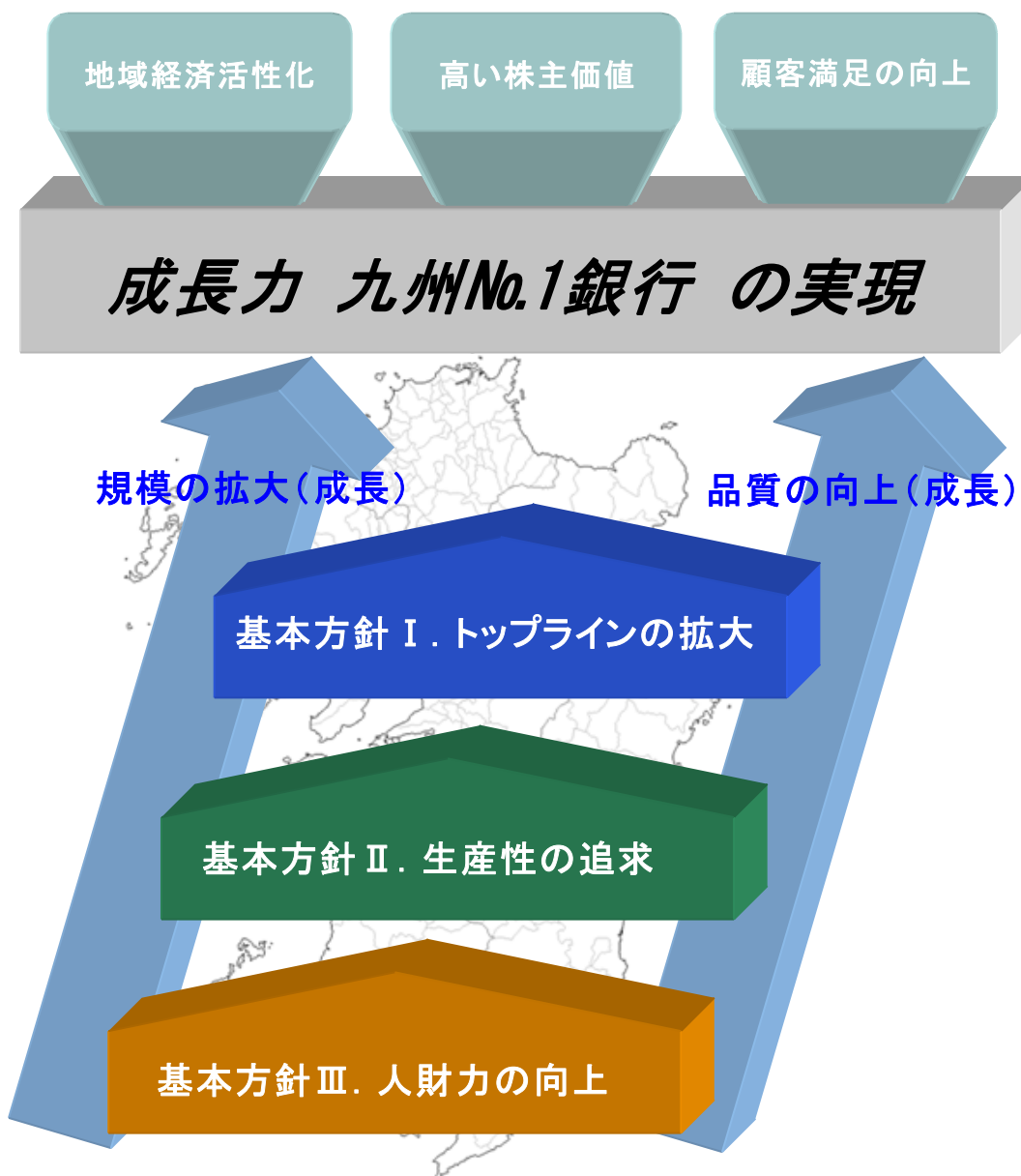
「Challenge No.1」

(平成 26 年 4 月～29 年 3 月)

1. 計画コンセプト

当行は地域リーディングバンクとして、地域と共に成長することにより、「成長力九州No.1 銀行」を実現し、高い株主価値と顧客満足の上を目指していきます。高い成長力を実現するためには、早急かつ大幅な「業量の拡大」すなわち「規模の成長」を図ると同時に、コスト構造、事務、商品、CS、コンプライアンス、行員のスキルや人間力まで含めた「業務レベルの向上」すなわち「品質の成長」を図っていく必要があります。

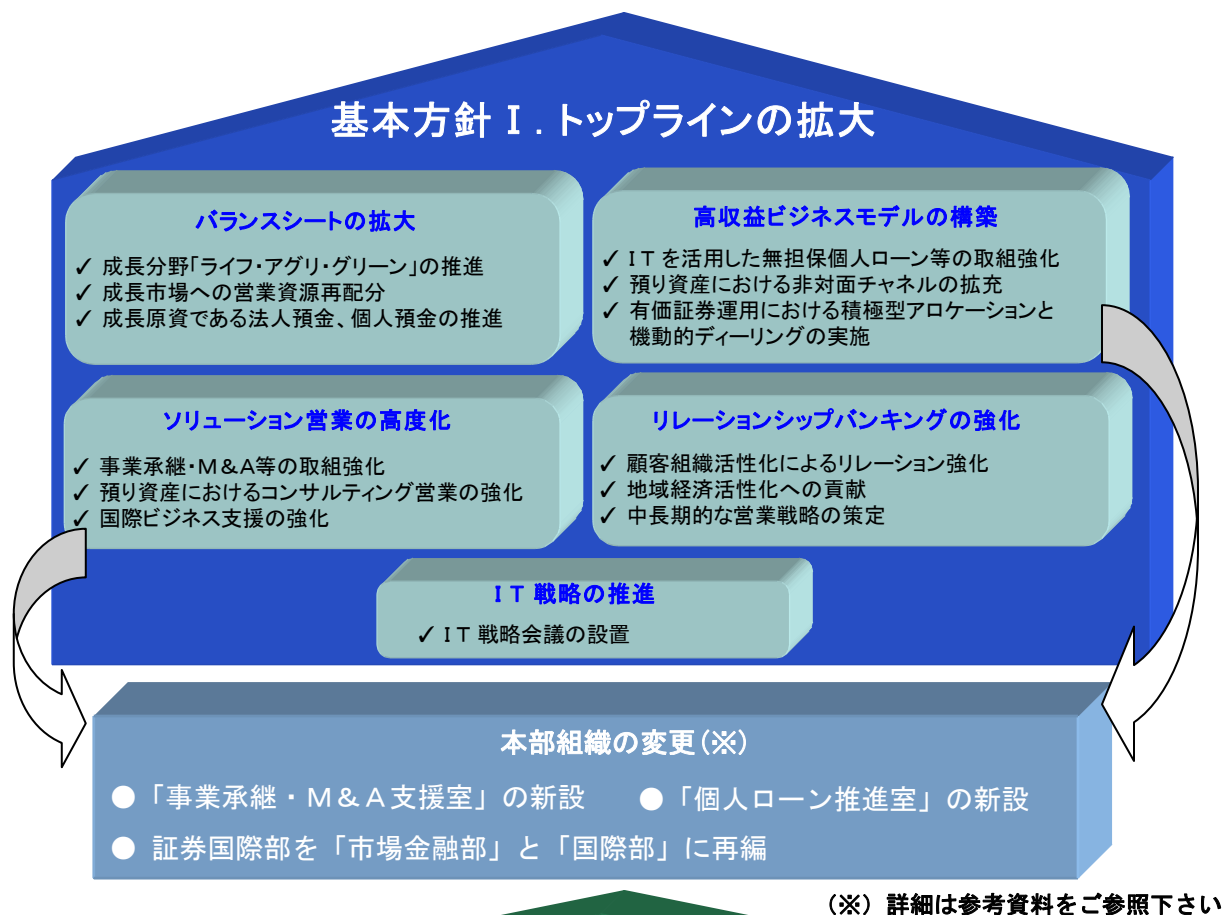
その成長力で九州No.1 を実現することに、全職員一丸となって挑戦するという意味から、「Challenge No.1」と名付けています。



2. 基本方針

「トップラインの拡大」「生産性の追求」「人財力の向上」

計画達成のためには、トップラインの拡大を図る必要があります。そのために、一番のベースとなる人財力を向上させることと同時に、業務の効率化・軽量化にも取り組むことで、一人ひとりの生産性を向上させ、総人員を増やすことなく営業人員を増員し、成長市場・成長分野への営業資源再配分を実施します。



基本方針Ⅱ. 生産性の追求



基本方針Ⅲ. 人財力の向上



3. 経営目標

【指 標】		平成 28 年度目標
成長力	経常収益	455 億円
	総預金平残	22,900 億円
	総貸出金平残	17,620 億円
	有価証券平残	7,000 億円
収益力	コア業務純益	120 億円
	当期純利益	50 億円
効率性	OHR (※)	68%
健全性	自己資本比率	10%

※OHR＝経費÷（業務粗利益－債券関係損益）

以上

本資料には将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

新中期経営計画に伴う本部組織の変更について

1. 変更内容

(1) 「国際部」の新設

現在証券国際部内にある外国為替業務室を分離独立させ国際部を新設することで、国際ビジネス支援の強化を図ります。

(2) 「証券国際部」を「市場金融部」へ変更

国際部の独立に伴い、証券国際部を市場金融部へ変更し、資金運用専門部署として特化させ、有価証券等市場運用の収益力を強化します。

(3) 「個人ローン推進室」の新設

営業統括部内に「個人ローン推進室」を新設し、IT等を活用した非対面での無担保個人ローン取り組みを強化し、リテール貸出増強、収益拡大を図ります。

(4) 「事業承継・M&A支援室」の新設

営業統括部内に「事業承継・M&A支援室」を新設し、コンサルティング機能を強化することで、高まる事業承継・M&Aのニーズにお応えします。

(5) 本部各部及び営業部に「副部長」、「企画役」の職制を新設し、本部次長を廃止

本部各部に副部長を配置し、本部業務運営の高度化を図るとともに、営業部に副部長を配置し、地区内の計数管理の強化、及び本部、地区間の連携強化を図ります。また、本部各部に「企画役」を配置し、経営上重要な事項に関する企画担当者の役割を明確化・高度化します。

2. 実施日 平成26年4月1日

3. 組織図

